



5病棟の生活のひとコマ 82

連日大変厳しい暑さが続いていますね。暑さだけでなく、全国各地でゲリラ豪雨や雹など異常気象も多発しており、今年も大変な時期がやってきたなと実感しています。そんな夏ですが、ネガティブなことだけでなく楽しいイベントもたくさんある季節ですね。

夏を代表する日本の風物詩といえば「花火」! 今回のひとコマでは、花火のスヌーズレンルームをご紹介します。部屋の中へ入ると、ブラックライトに照らされたカラフルな花火の絵がピカッと光っており、幻想的な雰囲気が漂っています。見るだけでなく、アロマの香りや花火の音も楽しむことができ、ドー

ンという花火の大きな音はなかなか臨場感があります。リラックスして花火を満喫する方や、食い入るように花火の絵や音を楽しむ方など、さまざまな患者さんの表情がみられます。5病棟へ来た際には是非スヌーズレンルームも覗いてみてくださいませ。

(児童指導員 森 日奈子)



2病棟の子どもたちの生活のひとコマ

日本のように春夏秋冬と3ヶ月ごとにはっきりと季節が移り変わり、気候や気温が大きく異なる国はそう多くないといわれています。しかし、最近の日本は四季が変わりつつあります。具体的には、気温の上昇により夏が長く感じられ、春と秋が短くなったとを感じるそうです。今年も長い夏になりそうな予感がします。

さて2病棟では、5月に入院患者さんと園芸活動でひまわりの種まきをしました。この種は、東日本大震災のあと、瓦礫の中から芽を出して咲いたひまわりからとれた種の子孫です。2世3世と生命を繋ぎながら、今では大勢の人に受け継がれているそうです。ご縁があり9世の種が三重病院にきたときから、2病棟では子どもたちと毎年生命を繋いでおり、今年も夏の暑さにも負けず、みんなで水やりを行った成果もあり、無事に花を咲かせることができました。ひまわりの花が咲いた時には、「こんなに近くでひまわりを見たのははじめてや。」「きれい!」などの声があがりました。そして無事に14世の種を収穫することができました。

今後も園芸活動を通じて、このひまわりのようにどんな状況におかれても負けず、そしてみんなで声をかけ合い助け合っていくことの大切さを伝えていきたいと思えます。まだまだ暑い日々が続きますが、体調に気をつけながらこの長い夏を乗り越えていきましょう。

(児童指導員 平田 真理子)



通所支援事業のひとコマ



夜には秋の気配が漂う時期となってきましたが、今年の夏は一段と暑かったですね。7月8月は学校が夏休みと

いうこともあって、通所支援でも学籍児さんの受け入れを行いました。今年の春に小学生になったお友達も、元気にご利用いただきました。

夏の遊びといえば「水遊び」ですが、医療度の高い大人の利用者さんがほとんどなので、手やお顔を霧吹きで湿らせたり、手浴をしたり、かき氷器で削った氷を触って冷たさを感じてもらったりして、夏らしさを楽しんでいただきました。学籍児さんの利用日には、宿題プリントをしたり、読書(絵本の読み聞かせ)や手遊びをしたりしています。子どもたちのかわいい笑い声に、大人の利用者さんたちもニコニコしていましたよ。

園芸活動では、小玉スイカ1玉とミニメロン4玉収穫できました。小玉スイカは早々に葉が枯れてしまったので野菜風のお味でしたが、ミニメロンの方はメロンというよりマクワウリに近いお味でした。つぶしたメロンを利用者さんの鼻元に近づけると、お口をもぐもぐさせたり、目をくりっとさせたりして、しっかり香りを感じていただけたようでした。

(療育指導室長 村松 順子)



今月のみえツウちゃん



みえツウちゃん

(たいせいさん)

みえツウちゃんの塗り絵とても上手に塗ってくれてありがとうございました。

みなさまも、どしどし応募してくださいね。

新任 異動のごあいさつ

(2023年7月1日付)



●小児科 木村 隼大 (きむらはやた)先生

7月からお世話になっております、小児科の木村隼大と申します。

以前は三重大学病院で勤務をしておりました。

小児科で皆様と楽しく働けたらと思っています。いつでも気軽にお声掛けください。宜しくお願い致します。